

# 湯川だより



第13号 2014/02/25  
発行：御代田町 町民課

～安定したごみ処理の実現と新クリーンセンター整備に向けて～

この度の大雪の影響により、道路状況が悪く、収集車の通行及び作業が困難であったためにごみの収集ができず、皆さまにご不便をおかけしましたこと、お詫び申し上げますと共に、ごみ収集再開に向け、ご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

大雪から10日ほど経過しましたが、未だに多くの雪が残り、皆さまにはご不便をおかけしておりますが、一日も早く日常生活を取り戻せるよう努めて参りますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

## 環境アセス現況調査中間報告〔概要版〕シリーズ3(最終回)

前号に引き続き、新クリーンセンター環境影響評価の現況調査実施状況について、データの整理ができている、昨年夏までの調査結果の概要をお示します。

### 2-7. 悪臭

**調査地点**

**調査項目**

不快な臭いの原因となる22物質の濃度  
アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチルアミン、アセトアルデヒド 等

臭気指数 (人間の嗅覚により判定)

**調査結果**

22物質の濃度  
いずれの物質も、規制基準値以下となっていました。

臭気指数  
10未満となっていました。

臭気指数 10  
=採取した空気を10倍に薄めると臭気を感じなくなる程度

凡例  
○:建設候補地  
●:悪臭調査地点(①~⑱)  
---:市町界  
このほか、佐久クリーンセンターでも実施。

■ 河川水質調査は、湯川や面替区大星付近の表流水、豊昇区の久能沢川等、建設候補地周辺の河川を対象に調査を実施しました。健康及び生活環境に関する環境基準項目等について検査を行い、一部の河川で大腸菌群数が基準を超過しましたが夏季に基準を超過する傾向が多く、県が実施した平成25年8月の調査においても、大腸菌群数の基準を下回った地点は、80地点中1地点のみでした。

■ 地下水質調査は、建設候補地内に設けた観測用井戸1地点のほか、建設候補地周辺の既存井戸として、佐久市1地点、御代田町(面替区)2地点の計4地点で調査を実施しました。いずれの地点も、環境基準項目に定められた基準値以下でした。

■ 悪臭調査は、臭気指数が高くなりやすい夏季に調査を実施しました。

調査地点は、一般環境大気質調査及び地上気象調査と同じ地点の中から、御代田町6地点、佐久市7地点の計13地点で調査が実施され、このほかに、現行施設である佐久クリーンセンターにおいても調査を実施しました。

いずれの地点も、臭気指数等、現況の調査結果は基準値以下でした。

### 2-8. 河川水質(1/2)

**調査地点**

**地点**

地点	地点名
①	上平尾地区(調整池付近)
②	横根地区(湯川合流点)
③	面替地区(大星付近)
④	豊昇地区(久能沢川下流部)
⑤	豊昇地区(久能水源付近)

**調査項目**

人の健康の保護に関する環境基準項目  
カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB 等

生活環境の保全に関する環境基準項目  
水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質、溶存酸素量、大腸菌群数

ダイオキシン類

地点①、②、④で夏季に大腸菌群数が超過していた以外は、すべての項目で環境基準値以下となっていました。

凡例  
○:建設候補地  
●:河川水質調査地点(①~⑤)  
---:市町界

### 2-10. 沢流量・地下水位(1/3)

**調査地点**

**地点**

地点	地点名
A	建設候補地 西側
B	建設候補地 東側
①~⑧	建設候補地内の観測井戸
⑨	建設候補地近隣の井戸
⑩	面替地区集落の井戸(元井戸)
⑪	面替地区面替橋付近農地の井戸

**地点①~⑧**

凡例  
○:建設候補地  
●:沢流量調査地点(A, B)  
●:地下水位調査地点(①~⑪)  
---:市町界

■ 景観調査は、景観資源となる「平尾山」を眺望できる場所を選定し、イメージ写真の合成などにより見え方に関する影響を予測、評価するため、写真撮影を実施しました。

### 2-11. 景観

**調査地点**

**調査項目**

施設完成後の景観がどのようなか、フォトモンタージュ(イメージ写真)を作成します。

凡例  
○:建設候補地  
●:景観調査地点(①~⑧)  
---:市町界

■ 触れ合い活動の場調査は、建設候補地周辺の「公園」など多くの人が利用する場を選定し、施設ができることによる調査地点までの交通面への影響や、利用状況の変化などを予測、評価するため、実際に利用しているかたからアンケート調査を実施しました。

### 2-12. 触れ合い活動の場

**調査地点**

**アンケート内容**

- どのような交通手段で来ましたか?
- どのような目的で来ましたか?
- どのくらいの頻度で利用しますか?
- 魅力は何ですか?

これら場所の利用に影響が生じないか、予測を行います。  
例:アクセス道路の混雑、景観の変化による魅力の喪失等

凡例  
○:建設候補地  
●:触れ合い活動の場調査地点(①~⑤)  
---:市町界

### 2-13. 動物(2/4)

**調査結果**

○注目すべき種 (哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類)

動物相	種名	確認地点	
		建設候補地	周辺
哺乳類	カヤネズミ		●
	アオバト		●
鳥類	コチドリ	●	●
	フクロウ	●	●
	サンショウクイ	●	●
両生類	サンコウチョウ	●	●
	トウキョウダルマガエル		●
	ツチガエル		●

ほか、9種(計17種)

確認された種  
・哺乳類:15種  
・鳥類:80種  
・両生類:8種  
・爬虫類:5種

■ 動物調査の中間報告では、種の確認等ができた夏までの調査結果をとりまとめています。

表中では、確認された種で、絶滅危惧種等に指定されているものを一部抜粋して、「注目すべき種」としてお示ししています。注目すべき種及び一般種を合せ、鳥類は80種、昆虫類は400種、底生動物は239種などが確認されています。

また、フクロウ類調査について、今回の調査では鳴き声の確認などはできたものの、個体の確認には至りませんでした。フクロウ類も注目すべき種に該当することから、本年3月から5月にかけて追加調査を予定しています。

## 2-13. 動物(3/4)

### 調査結果

○注目すべき種 (魚類、昆虫類、底生動物、陸・淡水産貝類)

動物相	種名	確認地点	
		建設候補地	周辺
魚類	スナヤツメ類		●
	ホトケドジョウ		●
昆虫類	ベニモンマダラ	●	●
	ゲンゴロウ		●
	オオムラサキ	●	●
	コオイムシ		●
陸・淡水産貝類	ナガオカモノアラガイ		●
	クリイロベッコウ	●	●
			●

ほか、11種(計19種)

確認された種  
魚類：11種 昆虫類：400種  
底生動物：239種 陸・淡水産貝類：20種



## 2-13. 動物(4/4)

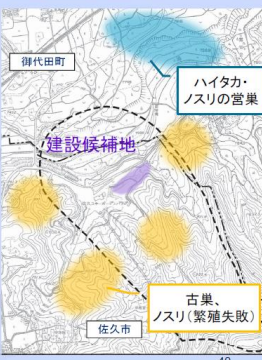
### 調査結果

○注目すべき種 (希少猛禽類)

動物相	種名	確認地点	
		建設候補地	周辺
希少	ミサゴ		●
猛禽類	ハチクマ	●	●
	ハイタカ	●	●
	オオタカ		●
	ノスリ	●	●

### 繁殖の状況

ハイタカ：幼鳥1羽の巣立ちを確認  
ノスリ：幼鳥2羽の巣立ちを確認  
ハチクマ：調査地域周辺で幼鳥を確認



特に昆虫類や底生動物の確認数は多く、里川や水田などに生息する動物が見られ、良好な里山の自然環境であることがわかります。

希少猛禽類については、数ヶ所の定点観察及び現地踏査等を実施し、5種が建設候補地周辺で確認されうち3種は、建設候補地の上空で飛翔する姿等が確認されました。

今後、希少猛禽類については、必要に応じて、観察を行い、更なる現況の把握に努めていきます。

## 2-14. 植物(2/2)

### 調査結果

○注目すべき種 (植物)

科名	種名	確認地点	
		建設候補地	周辺
カバノキ	ヤエガワカンバ	●	
トチカガミ	ミズオオバコ		●
ケシ	ナガミノツルキケマン	●	●
スイカズラ	オニヒョウタンボク	●	●
ユリ	ヤマユリ		●
ユリ	ヒメアマナ		●
ラン	ギンラン	●	

ほか、4種(計11種)

確認された種  
植物：554種



■ 植物調査の中間報告では、554種が確認されています。この内、注目すべき種として表には7種が記載され御代田町の町花としても馴染みの深い「ヤマユリ」もありました。

これらの現況調査は、年間を通して最終的にとりまとめを行い、新クリーンセンターの工事及び施設稼働による環境への影響がどの程度予測され、それに対する保全措置が影響をどの程度緩和することができるか評価するための基礎データになります。

現在、データ整理と並行して環境影響の予測、評価作業を進めています。

今号の「環境アセス現況調査中間報告〔概要版〕シリーズ3」をもちまして、中間報告会資料〔概要版〕の掲載は終了となります。資料全編については、佐久市ホームページにて掲載しておりますので、ご覧ください。

【環境アセス現況調査中間報告資料掲載ホームページアドレス (PDF 1,206KB)】

<http://www.city.saku.nagano.jp/cms/html/entry/8457/file9.pdf>

【インターネット検索ページから検索ワードを入力してアクセス】

佐久市 中間報告 PDF

検索

## ちょっとそこまで

## 冬の伝統行事 どんど焼き



1月12日、青く澄んだ冬空の下、地区のどんど焼きに参加しました。

どんど焼きは、全国各地に伝わる小正月(1月15日)の行事で、正月の松飾りや注連縄、書き初めなどを持ち寄り、小枝、竹などを使ってどんどを作り燃やします。四方から点けられた火は一気に天高く燃え上がり炎に包まれた竹がドオン！ドオン！とはねます。炎とともにやぐらが倒れ下火となる頃、子どもも大人も火の周りに寄り添い、思いおもいに作った『稲の花』や『まゆ玉』を焼きます。この稲

の花やまゆ玉を焼いて食べると『風邪を引かない』と昔から云われきました。

「あつーい！もう焼けた？」と言う声があちこちから聞こえ、子どもの頃、当時は馬市場(栄町)でどんど焼きが行われていたのですが、マシュマロを焼いてみたり、甘酒をもらったり、懐かしい思い出がよみがえります。

云い伝えでは、『火は穢れを浄め、新しい命を生み出し、竹の爆ぜる音は災いを退け、燃える正月飾りの煙に乗ってお正月の神様が天へと帰る。どんど焼きは、祓い清めという役割と、お正月休みから人々を日常に戻す節目として、二つの役割を担った行事である。』と云われています。

近年では、1月15日にとられず、日にちや時間帯を工夫し、温かい豚汁や焼き芋を用意するなどして、多くの子どもや地域住民のかたに楽しんでもらえるよう、地域の皆さんで協力して取り組んでいます。

集う人々と子どもたちの笑顔、どんど焼きの炎のように、温かい地域の繋がりを感じた1日でした。(ゆ)

### 編集後記

2月14日から降り続いた大雪は、15日に災害救助法が適用される事態にまでなり、自然の脅威や積雪の恐怖を痛感しました。交通網は完全に麻痺し、物資が届かないことから近隣の食品店では、売切れ状態が続くなど私たちの生活に大きな影響を与えています。自宅前の道路を何時間もかけて除雪し、自助努力を惜しまないかたや、地域のかた数名が道路や歩道の除雪を行い、お互い協力し合いながら、自分たちの地域を守るためにご尽力されています。

今回の大雪は、東日本大震災以来、少し薄れてしまっていた災害に対する危機感や防災意識、地域の協力体制などを再認識するきっかけになったと思います。

今回のような大雪が来年も降るかもしれません。『自分たちの地域は、自分たちで守る』。今回の災害を踏まえ、日々のご近所付き合いや防災体制の構築など、その重要性を改めて実感します。

新クリーンセンターも防災面を強固なものとし、より地域に貢献できるものとしていきたいと思っております！

【発行】 御代田町 町民課 環境衛生係  
御代田町大字御代田 2464 番地 2 電話：0267-32-3111 (内線 47)  
【佐久市問合せ先】 佐久市 環境部 新クリーンセンター整備推進室  
佐久市中込 3056 番地 電話：0267-62-2111 (内線 484)